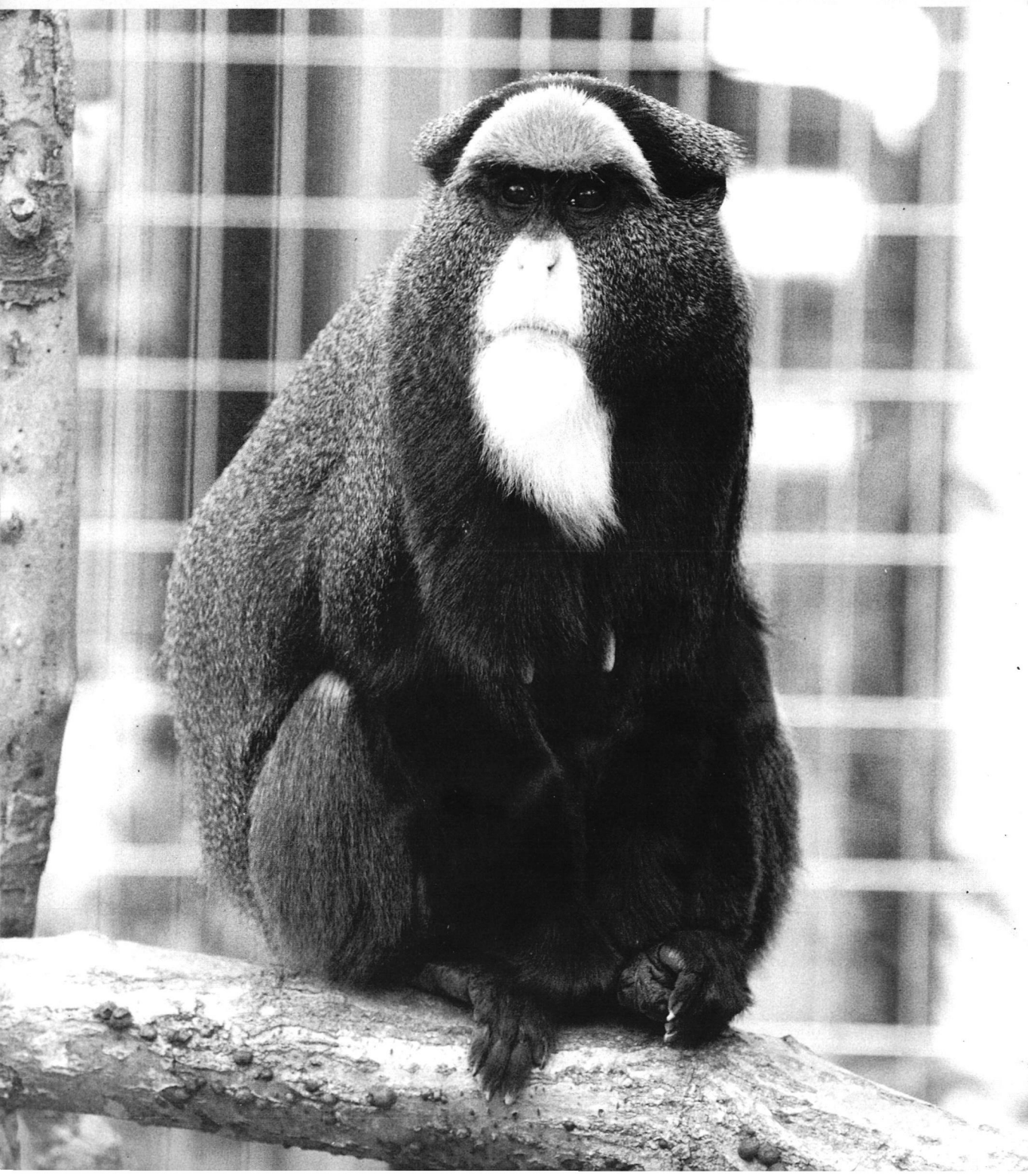


どうぶつこうえんニュース

 **千葉市動物公園**
Chiba Zoological Park

第5号



どうぶつと私…(2)

不忍池のウのお里

白井 邦彦

元 農林省農業試験場
鳥獣研究室 室長



先日NHKのテレビが、上野の不忍池のカワウを「ウオッチング」の番組で放映したのを、ご覧になった方も多いと思います。たくさんのカワウが池畔の枯木に集って、一生懸命に巣をかけている有様はほほえましいものでしたし、親鳥の咽喉の奥まで首を差込んで餌をねだるヒナの格好には、皆さんもびっくりされたことでしょう。

不忍池は、上野動物園が昭和26年から野生のカモを誘致して、大成功を取めた池として広く知られています。その年に150羽ほど離れたカモやアヒルが、次第に野生のカモを呼んで10年後に1,000羽、20年後に5,000羽と増え30年後には7~8,000羽になり、カワウも最初の26羽から1,700~2,000羽と増えました。カワウは朝、空高く舞立って数10羽づつに群れ、東京湾などへ出かけます。そして魚を捕えると三々五々帰ってきます。カワウはガンくらの大きさですから、そのときの列飛はガンと同じように見事な眺めです。

ところで、この不忍池のカワウの先祖は、千葉市の出身なのです。近くに浅海の東京湾や印旛・手賀の大きな沼のある千葉市には、昔からカワウのコロニーがありました。私の住居の近くの加曽利町の田圃の真中には「鶴島」という小山があります。上野へ送られたのは、そこから4kmほど南東の、大蔵寺の境内の森にできたコロニーの鳥です。その森は「鶴の森」といわれていましたが、木がすっかり枯れ朽ちたので、残っていたウを不忍池へ移したのです。私は子供の頃からよく大蔵寺へ行って眺めていましたから、ウがいなくなったときは淋しく思ったものでした。それで放映のあと、沢山撮った写真を取り出して昔をしのびました。

4年ほど前、不忍池の底を掃除することになった時、都から、お里の千葉県へ「ウを預って欲しい」との話がありました。その時、県は都合がつかなくて断りましたが、今は千葉市に広い動物公園ができ、園内に広い池もあるので、何羽か里帰りさせて100羽程度の「鶴島」でも作ったらと思ってみたりするこの頃です。

目 次

表紙・ブラッサゲノン……………	1
動物と私……………	2
グラビア ヨーロッパバイソンの親子…	3
写真スナップ大会入賞作品…	4
特別展「世界の動物園展」…	5
動物公園日誌から……………	6
動物公園の動物②……………	8
動物公園の施設②……………	8
飼育よもやま話……………	9
健康管理センターから……………	10
昭和62年度行事予定……………	10
飼育動物一覧表……………	11
動物公園案内図・ご案内……………	12

表紙の動物説明

●ブラッサゲノン

おでこがオレンジ色で、鼻の下からあご、のどにいたる長く白いひげが特徴のサルです。木から木へ跳びうつるのはにがで、地上を移動します。家族でくらししており、果実・葉・昆虫などを食べます。おどろいた時は、体が凍ったかのように動きをとめます。中央、東アフリカに広く分布するが、湿地の林にしかすんでいないため、個体数は少ない。

動物飼育数

(62年1月1日現在)

哺乳類	70種	387点
鳥 類	52種	209点
ハ虫類	5種	24点
両生類	2種	2点
魚 類	1種	2点
計	130種	624点

グ ラ ビ ア

ヨーロッパ バイソンの親子

哺乳綱 偶蹄目 ウシ科



10月27日、ヨーロッパバイソンの子供が生まれました。

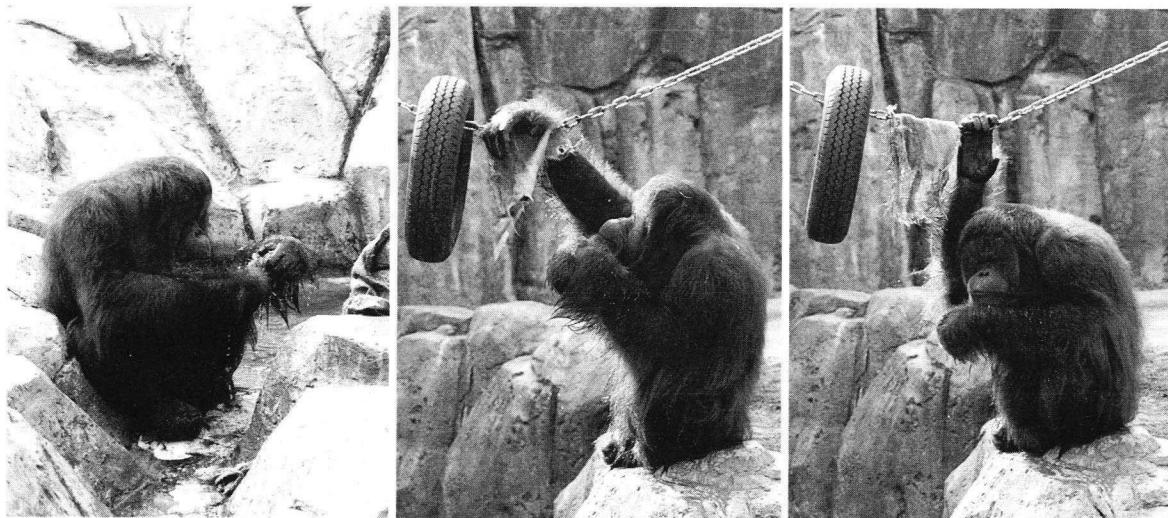
昔はヨーロッパ全土に広く分布していましたが、たびかさなる戦争のため絶滅しそうになってしまいました。そこでポーランド政府は国内に広大な保護区をつくり、ヨーロッパの動物園で飼育していたものを集め、森に放し、再生を計りました。その結果、今日では1,500頭にまで増え、危険は脱しました。

動物園で飼育されていたため絶滅をまぬがれた良い例です。

(園長 宗近 功)

写真スナップ大会入賞作品

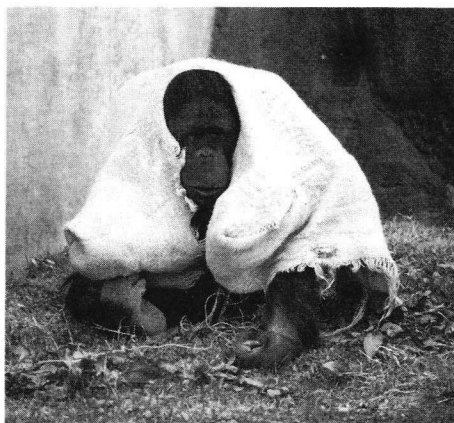
〈実施日 昭和61年 7 月26日～昭和61年 8 月17日〉



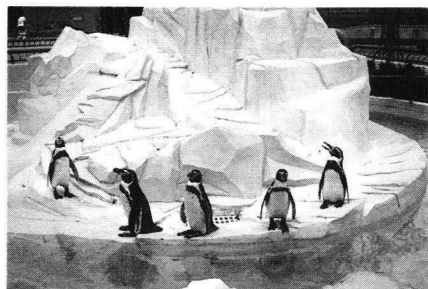
金賞 「洗濯日和」 3枚組 上田 一生



銀賞 「子育て」 鉄島 正年



銀賞 「一人芝居のオランちゃん」 榎本 博之



銅賞 「ペンギン」 米井 寿江



銅賞 「穴の中の避暑」
内山 政治

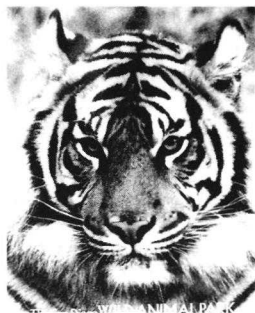


銅賞 「水牛」 日根 邦雄

特別展「世界の動物園展」

当動物公園では、動物科学館2階特別展示室において、特別展「世界の動物園展」を開催中です。動物園の多い北アメリカ、ヨーロッパを中心に世界各地の動物園から、ポスター、リーフレット、パンフレット、ガイドブック、雑誌、絵はがき、エンブレム、シールなどたくさんの資料を送っていただきました。その中から38の動物園のポスターやパンフレットなどを展示しています。そのうちのいくつかを紹介してみましょう。

まず、世界で一番動物園の多いアメリカ合衆国の動物園を見てみましょう。ジャイアントパンダ、ボンゴ、ゴールデンライオンタマリンなど希少な動物のイラストを並べたポスターのワシントン動物園は、国立の研究所の付属施設で、それらの希少動物の飼育繁殖に力を入れています。ニューヨークのブロンクス動物園とサンディエゴ・ワイルドアニマル・パークはセンスのいいパンフレット（写真）や雑誌などを展示しております。



前者は、ニューヨークに古くからある動物園で、展示施設などでアメリカの動物園界をリードしています。後者は、728haの広さで、広々とした所に動物が飼育されていて、見て回るには車を利用するほどです。その他、ロスアンジェルス動物園、サンフ

ランシスコ動物園などの他9園を紹介しております。

また、カナダではメトロ・トロント動物園のきれいなホワイトタイガーなどのポスター、カルガリー動物園のオランウータンなどのポスターを展示しております。

次に紹介するのは、多くが古い歴史をもつヨーロッパの動物園です。まず、イギリスでは、いろいろな動物をイラストにしたポスターのロンドン動物園は、過去、現在とも世界の動物園のリーダー的役割りをはたしています。ゴールデンライオンタマリンのポスター（写真）のジャージー動物園は世界の希少動物の飼育繁殖に成果を上げています。他にエジンバラ動物園のペンギンのポスターもあります。

西ドイツも立派な動物園の多い国で、チーターなどの大きなポスターのフランクフルト動物園、



動物のユーモラスなイラストポスター（写真）のドルトムント動物園、その他西ドイツで最も古く、飼育動物も多い西ベルリン動物園、他3園と東ドイツの東ベルリン動物園を紹介しております。

スイスの歴史のある優れたバーゼル動物園とチューリッヒ動物園の大きな動物のポスターは圧巻です。

また、ポーランドのワルシャワ動物園のポスター（写真）は、水彩画でアザラシなどが実にいい表情をしています。

他に、サイやキリンなどのポスターのスペインのマドリッド動物園、オランダのロッテルダム動物園、ヒグミーマーモセットのポスターのスウェーデンのスカンセン動物園、シロクマのポスターのブルガリアのソフィア動物園を紹介しております。



ゴリラの温かみのあるデッサンのポスターのモスクワ動物園は、ソ連の代表的な動物園です。

クマが木の上で居眠をしているポスター（写真）のオークランド動物園は、ニュージーランドで一番大きい動物園です。

アジアでは、ヒョウやヘビをポスターにしたシンガポール動物園があり、東南アジアの珍しい動物を集めています。

日本代表は、もちろんジャイアントパンダの子どもの話題でもちきりの東京都・恩賜上野動物園で、動物を描いた古い絵をポスターに取り入れています。

ここに掲載したポスターなどは、白黒写真ですが、展示中のポスターのほとんどはカラーなので、ぜひ一度自分の目でご覧いただきお国柄や各動物園の特徴を比べてください。

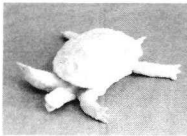
昭和62年6月末日まで開催しております。



動物公園日誌から

昭和61年 8 月 1 日～昭和61年12月30日

- 8 月 1 日 市川市動植物園準備室 3 名飼育研修 (～ 8 月31日)
夏休み動物映画会 (～ 8 月31日)
- 8 月 4 日 飼育研究会「ハイロックススのエサについて」
ヤケイ類にコクシジウム予防薬投与
- 8 月 5 日 第 2 回 サマースクール(小学 1 ～ 4 年生)
ヤイロチョウ死亡
- 8 月 6 日 保護していたヨシゴイ大池に放す。
- 8 月 7 日 第 2 回 サマースクール(小学 5 ～ 6 年生)
カンムリバト抱卵開始
- 8 月10日 動物ねんど教室開催



カメ(金賞)



リスザル(銀賞)



インコ(銀賞)

久保田 昇(9 才) 神田 裕之(7 才) 石川智香子(12 才)

- 8 月11日 保護していたアオバズク放す。
- 8 月17日 動物ねんど教室表彰式
- 8 月19日 アズマモグラ新着
スイギュウ交尾
- 8 月24日 動物を測る会開催



(ロバの体重測定)

- 8 月25日 保護していたツバメ放す。
- 8 月28日 リスザル繁殖
- 8 月30日 ヤイロチョウ死亡
- 8 月31日 写真スナップ大会表彰式
写真スナップ大会特別講演(動物写真家・田中 光常氏)
- 9 月 1 日 クマネズミ採集
ウシガエル採集
- 9 月 5 日 カンムリバトふ化
- 9 月 7 日 動物映画会 (14・15・21・23・28 日も)

9 月10日 世界の動物園展開催



(展 示 風 景)

- 9 月11日 ハシビロコウ死亡
- 9 月15日 敬老の日記念講演「動物と長寿」
- 9 月23日 ペーパー・アニマルグラフィティ86”開催
(～10月 5 日)



(展 示 風 景)

- 9 月24日 スローロリス交尾
- 9 月30日 ミニブタ繁殖 (3 頭)
動物園飼育技術者研究会「ヨツヅノヒツジの角」について発表
- 10 月 1 日 カイウサギ繁殖 (5 頭)
- 10 月 2 日 イシガメ保護
- 10 月 3 日 カンムリバトのヒナ巣から、初めて離れる。
- 10 月 5 日 動物映画会 (12・19・26 日も)
マーコール死亡
- 10 月 6 日 飼育研究会
ミニブタ繁殖 (4 頭)
- 10 月 7 日 タヌキ死亡
- 10 月 9 日 アビシニアコロボス繁殖
- 10 月10日 保護していたカルガモ大池に放す。
ズー・クイグラリー開催
カイウサギ繁殖 (5 頭)
- 10 月12日 ヤギ繁殖
- 10 月13日 ニワトリ、ハトなどにニューカッスル予防接種を行なう。
- 10 月14日 婦人のための動物公園ウォッチング開催
カイウサギ繁殖 (4 頭)
- 10 月20日 トナカイ交尾
- 10 月21日 アカハシカザリキヌバネドリ死亡
ヤギ繁殖

10月24日 ヤク交尾
 10月25日 トウフクコノハドリ死亡
 ブラッサゲノン交尾
 10月26日 アビシニアコロブス交尾
 10月27日 ヨーロッパバイソン繁殖
 ムフロン死亡
 10月28日 ヤイロチョウ死亡
 10月29日 アカノドゴシキドリ、上野動物園より寄贈
 される。
 10月31日 ミドリハシゴシキドリ死亡
 11月1日 ヤイロチョウ死亡
 11月2日 動物映画会（9・16・30日も）
 11月3日 ズー・クイズラリー開催



（解答風景）

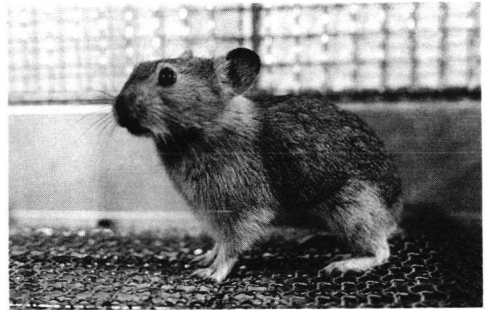
11月5日 アズマモグラ死亡
 11月9日 ミナミハイタカ保護（2羽）
 11月10日 ニホンザルに破傷風予防接種を行なう。
 11月15日 ビグミーマーモセット繁殖
 11月18日 フンボルトペンギン交尾
 ヤイロチョウ死亡
 11月19日 アカノドゴシキドリ死亡
 アカタマリン繁殖
 11月22日 ナマケモノ、アカミミコンゴウインコ贈呈
 式（ボリビア共和国より）
 タヌキ保護（2頭）
 11月23日 勤労者のための動物公園ウォッチング開催



（説明風景）

11月26日 ニホンノウサギ新着
 11月27日 ミニブタ、東武動物公園と埼玉こども自然
 公園に寄贈
 ジムグリ死亡

11月28日 カイウサギ（アンゴラ）新着
 ヤイロチョウ死亡
 カイウサギ、千葉大付属養護学校へ寄贈
 12月1日 飼育研究会「スリランカのゾウについて」
 12月2日 ヒムネバト死亡
 12月4日 マキバドリ死亡
 アフガンナキウサギ（2頭）実験動物中央
 研究所より寄贈される。



（アフガンナキウサギ）

12月7日 動物映画会（14・21・28日も）
 12月8日 ハイイロコクジャク死亡
 12月11日 クサガメ、クマネズミ死亡
 12月12日 カナヘビ採集
 エラブオオコウモリ繁殖
 12月14日 作文コンクール表彰式（千葉テレビ主催）
 12月17日 オセロット搬出
 北京動物園副園長来園
 ヤマカガシ死亡
 12月22日 カイウサギ繁殖（6頭）
 オグロプレーリードッグ死亡
 12月24日 ムネアカタマリン新着
 12月25日 コモンマーモセット新着
 12月27日 フンボルトペンギン産卵、抱卵開始
 12月28日 朝、積雪（3cmほど）あり
 12月29日 アメリカアカリス死亡
 12月30日 ビグミーマーモセット繁殖（2頭）



（ビグミーマーモセットの親子）

動物公園の動物 ②

～カナダカワウソ～

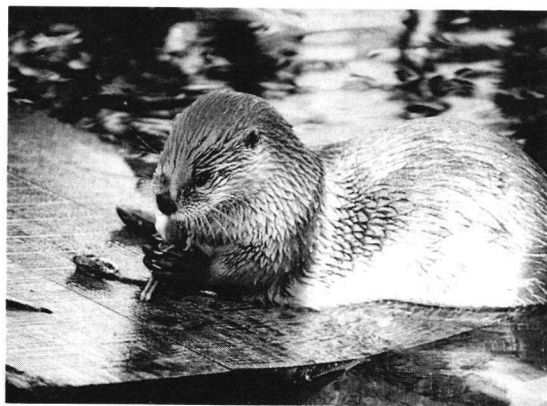
小型でかわいい動物を、その生態が観察できるように工夫した小動物ゾーンの一部に、カワウソ舎があります。動物公園には、2ペア、計4頭のカナダカワウソがいます。

カワウソは、イタチ科の仲間だけあって形態も習性もイタチによく似ています。

からだは細長く、4本のあしは短く、指の半分ぐらいの長さまで水かきがついています。尾は基部が大きく先端に向かって細くなっており、尾の基部の下方には一対の臭腺があります。頭は平たくて鼻先は幅広く、耳は小さくほとんど毛にかくれています。

からだの毛は、長くてかたい上毛の下に非常に細くやわらかい下毛があり、水を通しません。

彼らは、知能も発達していて、小さな魚は水中で食べたりしますが、大きな魚は陸にあがって前足でしっかりかかえて、尾っぽの方から食べていきます。ある程度お腹が満たされると次は陸地と池を舞台にあきることなく追いかけてこをしたり、体ふき用の麻袋にど



っちが先に入るかでもめて最後には必ず雌が池の中に麻袋をひきづりこんで、池の中でまた、もめて、本当に疲れを知らないように遊びます。

又、聞きなれない物音などがすると警戒して後足で立ちあがり周囲をみわたすポーズは、「カッパ」の正体はカワウソと考える説に、なるほど！と、うなずける感じがします。

その行動は、あいきょうのある姿とともに観る者を楽しませてくれるでしょう。

(佐藤 幹雄)

動物公園の施設 ②

～子ども動物園～

子ども動物園は、いつも子供たちのかわいい歓声であふれています。それでは皆様に、ご案内致しましょう。

ヨチヨチ歩きのペンギン、岩みたいに大きなゾウガメ、いたずら者のリスザルや、独特のチンチンポーズのプレーリードッグなど、おなじみのスターたちは人気の的です。

子ども牧場でのおんびり遊ぶ、馬、牛、ロバ、ミニ豚は、家畜とはいえ都会では、なかなかお目にかかれません。隠れた人気者です。また日祭日にはロバが広場に来て、サービスしてくれます。

コンタクトエリアの広い柵の中には、人なつっこいやギヤやヒツジ、アヒルたちが放し飼いになっています。そっと撫でて、手ざわりを確かめてください。

丸太小屋の飼育センターも、ちょっとのぞいて行っ下さい。小鳥・魚・ネズミなどの小さな生き物や、卵からかえったばかりのヒヨコを静かに見守ってください。

何といっても子ども動物園の人気の的は、小動物コーナーです。ここは動物と子供たちだけの桃源郷。クイタイノピヨピヨノ青い柵の中で、ウサギやモルモッ



ト、ヒヨコたちが放し飼いにされており、子供たちは思い思いに抱いたりさわったりする事ができます。動物に接するのが初めての子供でも、担当のおねえさんが、優しく抱き方を教えますから大丈夫。また時間が来ると、動物にエサを与えたり、動物のクイズや紙芝居も行っております。みんな真剣な顔をして、ちょっぴり動物のお勉強ができたかな？

こうして子供たちが、楽しそうに動物と遊んでいる姿に、我々スタッフは喜びを見いだし、そして、子供たちに動物を可愛がる気持ちを育ててもらい、動物に触れて少しでも何かを感じてもらおうよう努力しています。

(横山 浩)

飼育よもやま話

ショウガラゴのおめでた

夜行性動物舎のなかの、ゆっくり動くスローロリスとポトの間で、対照的にすばやくはねまわっているショウガラゴに、年が明けてすぐの1月2日、赤ちゃんが生まれました。千葉市動物公園で今年最初のベビー誕生となりました。生まれた日には、うずくまった母親のすき間から細長いしっぽが見えただけで、やきもきしましたが、それから4日目に初めて赤ちゃんを見ることができました。ショウガラゴは親でも体重200g足らずの小さな動物で、赤ちゃんはハツカネズミよりももっと小さな、頭でっかちの体に3~4cmくらいのしっぽがついていました。そっと巣箱をのぞいてみると、どうやら2頭生まれているようでした。

ところで、ショウガラゴはその大きい耳や暗いところで光る目、長い尾、身軽にはねまわる動作、さらにロリス科という科名から、よくお客さんにリスの仲間だと間違われます。両隣のポトとスローロリスまでがそのとぼっちりを受けて「へんなリス!」と言われたりするのですが、実はこの3種とも同じロリス科に含まれるれっきとしたサル仲間なのです。ロリスの仲間はサルの中では原始的な方なので、外見はあまりサ



ルらしくありません。

さて、ショウガラゴの親子は、安心して子を育てられるように、来園者の皆さんには見られない静かなところで飼っていました。1ヶ月ほどすると、子どもは巣からでて自由に跳びまわれるようになりました。

現在は、動物科学館1階の夜光性動物舎に親子で展示しています。
(辻村 直美)

チンパン君の知恵

動物科学館の一面に配置されている類人猿舎の中に、チンパンジーの群れをみることができます。

現在6頭を一群にして展示しておりますが、その様子をみていると人間にもっとも近いサルといわれるだけあって、あっと驚かされる場面によく出会います。

まず朝、放飼場に、チンパンジーを出す前にエサを少し置いておきます。するとそのエサを取ろうとして、両手、足そして口までも使って少しでも多く抱え込もうとします。それでも不安なのか、今度は苦手なはずの2本足で立ち、両腕一杯にエサを抱えサッサと立ち去ってゆきます。しばらくして見ると、隅の方でそのエサを満足そうに頬張っているのです。つい、にが笑いをしてしまいます。

夜には、それぞれの部屋に収容されたチンパンジーに南京袋を一枚づつ与えてあげます。すると特に寒い時など喜んでその袋に入ろうとします。それも足から入ればきっちり納まるのに頭からかぶって、中でモゾモゾとやっています。どうしてもお尻がちよっぴり顔を出しています。

頭かくして、尻かくさずといったところでしょうか。人間の坊やで、よくビニール袋を頭からかぶって大騒



ぎすることがあります。チンパン君の知恵の程度も、人間でいう3歳程度といえるのかもしれませんが。

いま紹介した動作以外にも、ユーモラスで、しかも人をうならせるような知恵もこのチンパン君達は、披露してくれますので時間のある方はじっくり観察してみてください。
(牧野 辰男)

健康管理センターから

カピバラの歯医者さん

子ども動物園にカピバラという動物がいます。ネズミの仲間では世界最大ですが、当園の2頭は、まだ青年で30kgくらいですが、もっと大きくなると最大75kgにもなるそうです。この仲間の特徴は大きな4本の前歯（門歯といいます）があることで、エサを上門歯でおさえ、下門歯で切って食べるとても大切な歯なのです。ところが2頭のうち、女の子の方の歯が妙な方向に向かって伸び過ぎてしまい、よだれはたらすは、エサの牧草は食べられないはと困ってしまって、とうとう歯医者さん（獣医こと私）にかかることになってしまいました。

歯医者さん大好き！という人は、あまりいないと思いますが、カピバラも例外ではありません。治療は道具を車いっぱい運んでカピバラ舎で行うことになりました。

自分でアーンと口をあけてくれそうにないので、治療の間、麻酔をかけて眠ってしてもらうことにしました。麻酔といっても、口にマスクをつける吸入麻酔では治療できないので、担当の人に押さえてもらい、おしりにチクンと麻酔注射をしました。

待つこと5分、カピバラはコテンと倒れスヤスヤ！口の中をのぞくと案の定、門歯がニョッキリとうし



ろへ向かって伸びすぎているのがよくわかりました。体の大きさに似合う太い歯なので、チョキンとは切れず、ノコギリで引いてもほとんど切れません。結局骨を切るために使う電気のノコギリを使うはめになってしまいました。眠っているとはいえ、ちょっとでも動けばカピバラは口にけがをしてしまいます。そこで担当者苦心の作の「かませ棒」をかんでてもらい、その上からウィーンチョン・ウィーンチョンと20分程で治療はおわりました。

眠ったままだと大変なことになってしまうのですが、ちょうど治療の終わるところからモゾモゾ動き出し、すべて終わってから1時間程で無事に立ち上がって歩きだしました。まあ、めでたし！めでたし！

（市川 心一）

62年度 行 事 予 定 表

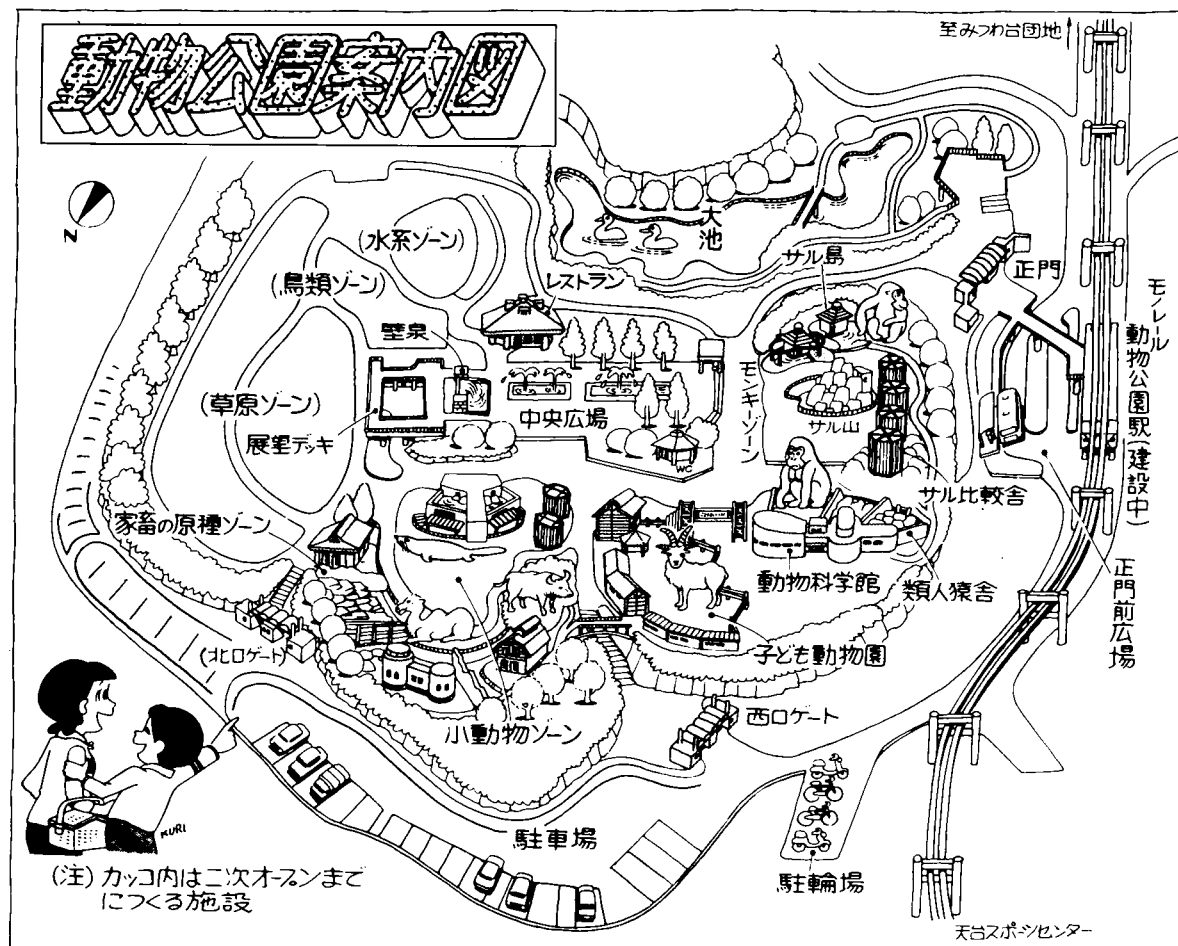
時期	行 事 名	内 容
通年	動物映画会 特別展 ＃	動物について、楽しく理解していただくために上映します。（日祭日・春夏休み） 世界の動物園展（～6月30日） 二次開園の動物たちをパネルなどで紹介します。（7月1日～）
春	動物ねんど教室 バードウィーク行事 羊毛刈りと紡毛教室	紙ねんどで動物の作り方教室とコンテストを行い、作品を展示します。 鳥についての講演をおこないます。 羊の毛刈りの実演と紡ぎ方教室を行います。
夏	動物愛護標語募集 サマースクール 動物写真コンクール	動物愛護にちなんだ標語を募集します。 飼育体験を通じ動物愛護精神を養うことを目的として行います。 園内の動物の写真コンクールと入選作の展示を行います。
秋	敬老の日行事 動物愛護週間行事 ズークイズラリー	敬老の日を記念し、講演を行います。 講演・映画・パネル展示を行います。 園内の動物のクイズを行います。
冬	新春特別行事 バードウォッチング	十二支についての特別展を行います。 園内の野鳥や飼育展示中の鳥の観察を行います。

詳しくは、各行事ごとに市政だよりなどでお知らせいたします。

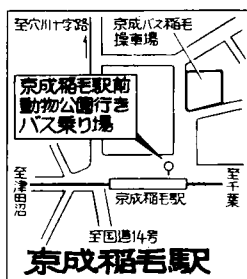
飼育動物一覽

昭和62年1月1日現在

哺乳綱			ゲツ目	カビバラ科 チンチラ科	カビバラ チンチラ	キジ目	キジ科	ニワトリ (家禽) ハイイロヤケイ ハイイロコクジャク	
有袋目	クスクス科 カンガルー科	ハイイロクスクス ダマウラビー	食肉目	イヌ科	フェネック タヌキ	ツル目	ツル科	オオカナダヅル	
翼手目	オオコウモリ科	エラブオオコウモリ		アライグマ科	レッサーパンダ	チドリ目	イシチドリ科	ペルーイシチドリ	
霊長目	ロリス科	スローロリス ボト ショウガラゴ ワオキツネザル エリマキキツネザル		奇蹄目	イタチ科 ネコ科		ハト目	ハト科	イエバト (クジャク) イエバト (ジャコビン) ウスユキバト カンムリバト
	キツネザル科	キヌザル科			ウマ科	キンカジュ カナダカワウソ オセロット		インコ科	スミレコンゴウインコ ルリコンゴウインコ ミドリコンゴウインコ アカコンゴウインコ ベニコンゴウインコ アカミミコンゴウインコ
	オマキザル科	オナガザル科	偶蹄目	イノシシ科 ラクダ科	モウコノウマ ウマ (ドサンバ) ウマ (ボニー) ウマ (ベルシュロン) ロバ (家禽) ラバ (一代雑種)	オウム目			
	テナガザル科	ショウジョウ科		シカ科 ウシ科	ビクーナ トナカイ スイギュウ (家禽) ウシ (ヘレフォード) ウシ (ホルスタイン) ウシ (黒毛和種) ヤク (家禽) ヨーロッパバイソン ヤギ (ザーネン) ヤギ (ミミナガヤギ) ヤギ (雑種) マーコール ムフロン ヒツジ (コリデール) ヒツジ (サフォーク) ヒツジ (ヨツツノ)			エポシドリ科	ニシムラサキエポシドリ ニシスキエポシドリ
	食肉目	ナマケモノ科	ホフマンナマケモノ フタユビナマケモノ ノドチャミユビナマケモノ ココノオビアルマジロ	鳥綱	鳥綱		メンフクロウ科	メンフクロウ	
		アルマジロ科	ナキウサギ科 ウサギ科				キヌバネドリ科 カワセミ科	アカハシカザリキヌバネドリ アオショウビン	
		ウサギ目	ウサギ科				カエデウ科	ミドリハシゴシキドリ セグロゴシキドリ アカノドゴシキドリ オオオハシ	
	ゲツ目	リス科	オグロブレリードッグ ミケリス	ガシカ目	ワシタカ目		カザリドリ科	ハゲノドスズドリ ペルーイワドリ	
ビーバー科 ネズミ科		ムクドリ科	ヤイロチョウ科 ヒヨドリ科 コノハドリ科				ヤイロチョウ コウラウン コノハドリ トウフクコノハドリ ルリコノハドリ マキバドリの一種 ヒズキンクムクドリ ベニスズメ アミメズメ キンカチョウ ジュウシマツ ヘキチョウ テリムクドリ キュウカンチョウ		
デンジクネズミ科		チンパンジー	ムクドリ科				カエデウ科	カエデウ科	カエデウ科
歯目	ビーバー科 ネズミ科	アメリカアカリス アメリカビーバー ゴールデンハムスター スナネズミ ハツカネズミ (家畜種) ハツカネズミ (野生種) デンジクネズミ	キジ目	ワシタカ目		ハ虫綱	ヌマガメ科 リクガメ科	クサガメ イシガメ アルタフラゾウガメ	
	デンジクネズミ科	デンジクネズミ (モルモット)				カメ目	カメ目	カメ目	
	デンジクネズミ科	デンジクネズミ (モルモット)				カメ目	カメ目	カメ目	
魚目	ビーバー科 ネズミ科	アメリカアカリス アメリカビーバー ゴールデンハムスター スナネズミ ハツカネズミ (家畜種) ハツカネズミ (野生種) デンジクネズミ	キジ目	ワシタカ目		カメ目	カメ目	カメ目	
	デンジクネズミ科	デンジクネズミ (モルモット)				カメ目	カメ目	カメ目	
	デンジクネズミ科	デンジクネズミ (モルモット)				カメ目	カメ目	カメ目	
以上 130種 (624点)									



②交通案内 直通バス：千葉駅（休園日を除く毎日運行） 稲毛駅：日・祭日のみ運行



- ▶開園時間 午前9：30～午後4：30（入園時間は午後4：00まで）
- ▶入園料 大人（高校生以上）500円 小人（小・中学生）100円 小学生未満無料
（団体） 有料人員30名以上は2割引
入園料が免除になる方（窓口で手帳を提示して下さい）
千葉市在住の60歳以上の方で千葉市発行の身分証を持参の方
身体障害者手帳を持参の方及び一種の方の介添人1名
療育手帳及びこれに類する手帳持参の方とその介添人1名
- ▶休園日 月曜日（月曜が休日のときは翌日） 年末年始12月29日～1月3日
- ▶駐車料金 普通車500円 大型車2,000円（マイクロバス含む）

（どうぶつこうえんニュース）

●編集 千葉市動物公園

●発行（財）千葉市動物公園協会

第5号（昭和62年3月1日発行）

〒260 千葉市源町280番地 ☎0472-52-1111（動物公園）

☎0472-52-1221（協会）